

World Prayer and Share Letter



とりなし手の皆様へ

世界のための祈り

ダイアン・グリコ師



■編集者注：神様の霊が、子ども達の上に注がれている以下の4つのレポートを読んで、皆様が、リフレッシュされ励まされることを願います。（情報源：JOEL NEWS, 2007 www.joelnews.org）

インドネシア

インドネシアは奇跡を経験しています！ 1年半前、ミッションスクールに通う3人の少女が凶悪犯に首をはねられ、1万5000戸以上の家や店が完全に破壊された地域では、特別な方法で別な3人の子ども達によって福音が多くの人々にもたらされています。長老派のある8才の少女セルヴィンが、ボソ地区で一度に3万人（イスラム教徒やヒンズー教徒、クリスチャンを含む）を救いと癒しに導くリバイバルのために用いられました。現在、長老派のある8才の少年モコは主に触れられて、力強く伝道しています。先週、トラジャ市長（南スラウェシ）から、4万人が参加する伝道集会のために招待を受けました。また、ペンテコステ派の11才のマリアは、教会で国家的悔い改めのメッセージを始めました。これら全てのリバイバルは、人々が1998年のクリスマスから2006年まで続いた大規模な迫害を経験した所で起こっています。今や、世界中のクリスチャンによるこの地域のための祈りが実現し始めているようです。何万人もの人々が救われているという報告があります。

タイ北部

クリスチャンは、カレン部族の子どもの証しと献身がタイ北部のサブラン村にリバイバルをもたらしたと報告しています。彼らは毎日神様を賛美するために集まるだけでなく、大人や子どものいやしを祈るためにも祈っています。この地域におけるリバイバルのための祈りは10年前に始まりましたが、明確な変化が起こったのは昨年、1万2000人のカレン部族が和解のために集ったキャンプからです。タイの牧師シドニー・ジャリヤフルッティボンさんは語ります。「人々は村の罪を告白し、村を主に捧げ始めました。現在、85家族のうちの80はクリスチャンです。人々は率直に罪を告白します。子ども達は天国の幻を見ます。彼らの人生に確かな変化が起こっています。」

インドのシロン

非常にユニークなリバイバルがここ数カ月、インド北東のメガラヤの州で広がっています。神様は、教会や牧師、リーダー、両親に語るために子どもを用いておられます。何千人もの子ども達が、影響を受けており、しばしば、子ども達を通して親が主との関係に立ち返っています。多くの場合、離婚や別居している夫婦も子どもを通して和解するようになりました。その他のケースでは、神様が子ども達に与えられた啓示を通して、全会衆が罪を示されています。

中国

中国本土における地下教会のリーダーと会ったピーター・ワグナー一師から以下の報告がなされました。聖書や他の書物も全く持っておらず、外国人（宣教師にさえ）に一度も会ったことがなかった1人の信者は、教会を開拓するための知恵

を求める祈りをする事しか知らなかったのですが、神様からのしるしと不思議を体験しています。1つの都市だけで、彼らは毎週日曜日に1,500もの礼拝を持っています。ある女性リーダーは1万人の子どもを担当し、日曜学校全体では10万人の子どもがいます。このリーダーは、彼女の日曜学校の子ども達が異文化宣教師になるよう訓練しています。そして、彼女は近い将来、日曜学校の校長先生のために国内聖会を3つリードする予定です。

編集者注：父の心を子に向けさせ、この心をその父に向けさせるというマラキの預言(4:6)がこれらの子ども達と牧師たちに成就するように、共に手を取り、心をつなげていきましょう。これは一致といやしの素晴らしいリバイバルをもたらす続け、主の再臨の備えとなることでしょう。

日本人の親がアブステナンス・メッセージにตอบสนอง。

昨年10月、福島県の高校のPTA集会で70分にわたる「アブステナンス」（結婚までセックスを控える事）のプレゼンテーションが「ファミリー・フォーラム・ジャパン」（日本人家族の教育と保護のために働くクリスチャン団体）のスタッフによってなされました。同県では、セーフ・セックス教育がなされたにもかかわらず、学生の性活動が続き、十代の妊娠中絶者の割合が高いために、「ファミリー・フォーラム・ジャパン」のプレゼンテーションを招きました。プレゼンテーションの後、高校一年生の学生の親たちがアンケートに記入し、セッションの終わりに回収されました。その内訳は父親15人、母親101人、その他2人でした。以下、アンケートの質問と応答です。

「あなたは今までに、セックスに関して子供と話したことがありますか？」の質問に、52人（44%）が「いいえ」と答えました。「成人としてのあなたがセックスに関して子どもに伝えたいことは何ですか？」の質問に、彼らの最も一般的な回答は多い順でいう次の通りです。「他の人と同様に自分を大事にする」「いのち（胎児）の価値を知る」「セックスを軽く扱わない」「他の人がしていることに影響を受けない」「結婚までセックスを慎むことに対するあなたの意見はどうですか。」の質問に、半数以上の67人が「結婚まで待つこと」を支持しました。それに関して、「理想」「素晴らしい」「もちろん」「それこそ私が伝えたいこと」というコメントがありました。15人が、それは「理想」であって、今の時代ではそれはきつと不可能だと答えました。10人は、ある状況下ではセックスは良いだろうと答え、21人はノーコメントでした。実際に、結婚までセックスをしないことに賛成する67人と、今の世の中ではかなり難しいと見えてもそれが理想だという15人を合わせると、95人中82人（86%の親たち）が、アブステナンス教育を支持しています。参加した両親はアンケートにまじめに回答しました。

（編集者注：大人と同様、十代の高い中絶率は日本の重大な問題です。信者として、日本の親たちが婚外性交に関する神様の御言葉を次の世代へ伝えるために、クリスチャンの証し人が増えるように祈り続けましょう。）